

令和 4 年度

飯塚市公営企業会計補正予算書

飯塚市下水道事業会計補正予算（第3号）

令和4年度 飯塚市下水道事業会計補正予算（第3号）

（総則）

第1条 令和4年度飯塚市下水道事業会計の補正予算（第3号）は、次に定めるところによる。

（業務の予定量）

第2条 令和4年度飯塚市下水道事業会計予算（以下「予算」という。）第2条第4号を次のように改める。

（4） 主要な建設改良事業 施設改良費 125,644千円

（資本的収入及び支出）

第3条 予算第4条本文括弧書きを「（資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額720,991千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額87,254千円、減債積立金124,556千円、過年度分損益勘定留保資金509,181千円で補填するものとする。）」に改め、資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

（科目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
	収	入	
第1款 資本的収入	896,318千円	37,100千円	933,418千円
第1項 企業債	458,900千円	23,000千円	481,900千円
第2項 補助金	422,841千円	14,100千円	436,941千円
	支	出	
第1款 資本的支出	1,611,409千円	43,000千円	1,654,409千円
第1項 建設改良費	924,268千円	43,000千円	967,268千円

（企業債）

第4条 予算第6条に定めた起債の限度額を次のように改める。

起債の目的	限度額 (千円)	起債の 方法	利率	償還の方法
公共下水道事業	(補正前 458,900) 481,900	証書借入	年4.00% 以内	毎年、半年賦元利均等償還又は元金の均等償還とし据置期間、償還期間、償還期限等については借入先の定める条件によるものとする。ただし、企業財政の都合により据置期間及び償還期限を短縮し、もしくは繰上げ償還又は低利に借換えすることができる。

令和5年2月22日 提出
飯塚市長 片峯 誠

令和4年度 飯塚市下水道事業会計補正予算実施計画

資 本 的 収 入 及 び 支 出

			収		入		(単位 千円)
款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考	
1	資本的収入		896,318	37,100	933,418	明細書のとおり	
	1	企業債	458,900	23,000	481,900		
		1 企業債	458,900	23,000	481,900		
	2	補助金	422,841	14,100	436,941		
		1 国庫補助金	347,164	14,100	361,264		

			支		出		
款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考	
1	資本的支出		1,611,409	43,000	1,654,409	明細書のとおり	
	1	建設改良費	924,268	43,000	967,268		
		2 施設改良費	82,644	43,000	125,644		

令和4年度 飯塚市下水道事業会計補正予算明細書

資 本 的 収 入 及 び 支 出

款	項	目	節	収		入		備	考
				既決予定額	補正予定額	計			
1	資本的収入			896,318	37,100	933,418			
	1	企業債		458,900	23,000	481,900			
		1	企業債	458,900	23,000	481,900			
			企業債	458,900	23,000	481,900			公共下水道事業債
	2	補助金		422,841	14,100	436,941			
		1	国庫補助金	347,164	14,100	361,264			
			国庫補助金	347,164	14,100	361,264			社会資本整備総合交付金

款	項	目	節	支		出		備	考
				既決予定額	補正予定額	計			
1	資本的支出			1,611,409	43,000	1,654,409			
	1	建設改良費		924,268	43,000	967,268			
		2	施設改良費	82,644	43,000	125,644			
			委託料	10,644	43,000	53,644	23,000		終末処理場機械電気設備改築調査設計委託料
							13,000		鶴三緒ポンプ場機械電気設備改築調査設計委託料
							7,000		殿浦ポンプ場電気設備改築調査設計委託料